

営農支援情報

～営農にお役に立つ情報をお届けします～

平成31年3月1日

(第12号)

発行元:ホクレン北見支所 営農支援室

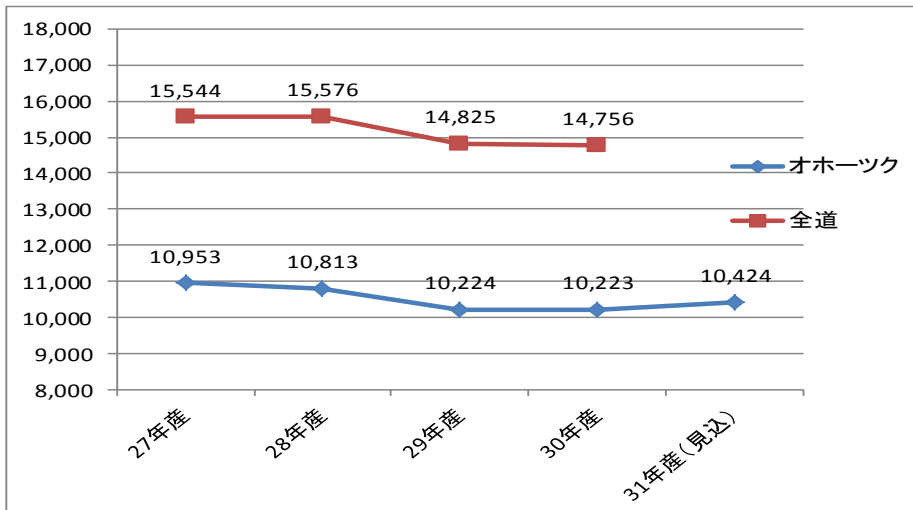
(アドレス:11einousien@hokuren.jp)

今号のテーマ:『馬鈴しょ』

1. 「馬鈴しょでん粉について」

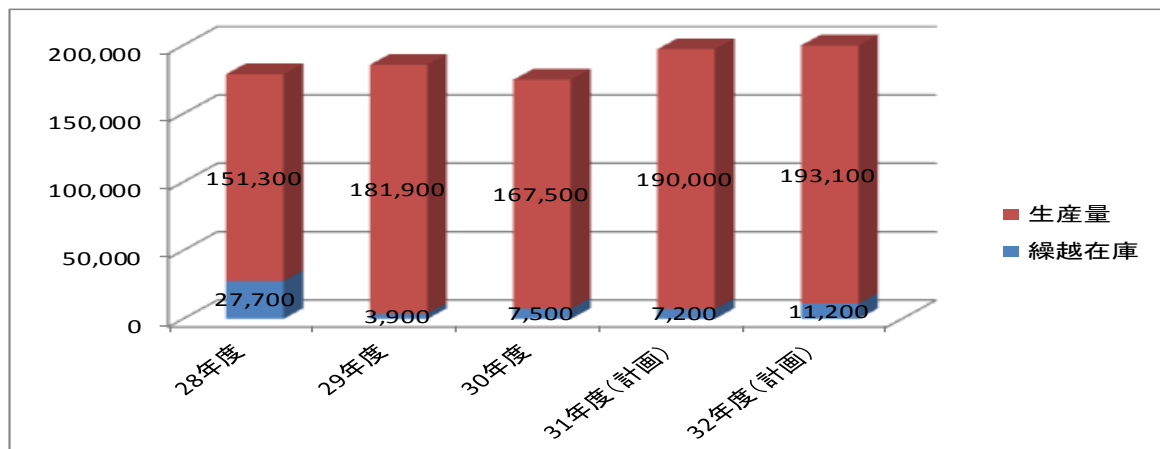


【図1】でん原馬鈴薯の作付面積の推移(単位:ha)



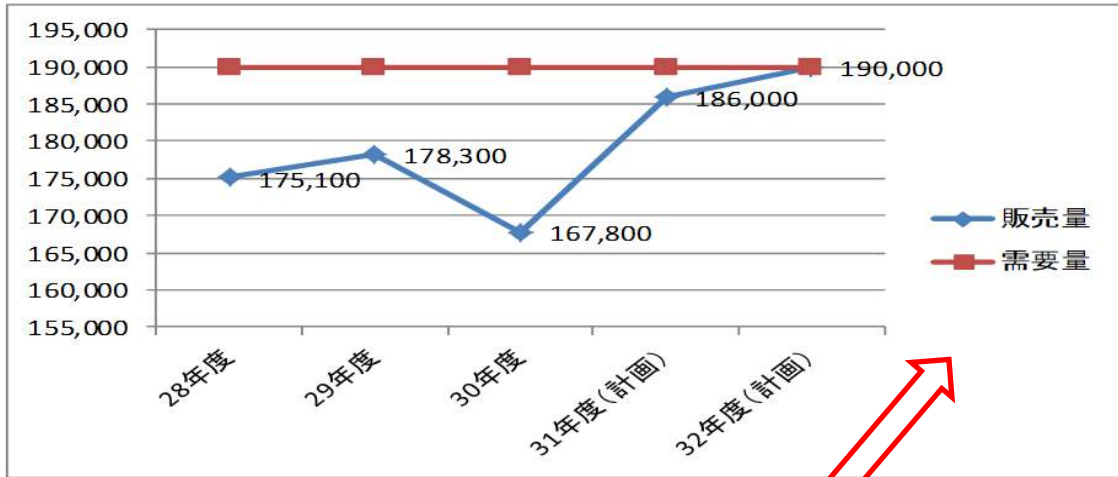
●馬鈴しょ全体の作付は近年5万ha強(全道)で推移しておりますが加工用以外は減少傾向となっております。

【図2】生産量と繰越在庫数量の推移(単位:t)



●生産量に対し、繰越在庫数量が少ない状況が続いており、不作年の安定供給に懸念があります。

【図3】販売量と需要量の推移(単位:t)



● 需要量に対する供給が満度に出ていない状況が続いています。

用途	求められる需要
糖化用	30,000t
化工用	32,000t
その他制度	44,000t
一般販売	84,000t
計	190,000t

【図4】国産でん粉の需給見通し

		29年度実績			30年度見込み		
		甘でん	馬でん	計	甘でん	馬でん	計
供給	繰越	5,400	3,900	9,300	4,000	7,500	11,500
	生産	29,500	181,900	211,400	31,000	167,500	198,500
	合計	34,900	185,800	220,700	35,000	175,000	210,000
販売	糖化用	17,100	29,500	46,600	15,400	22,600	38,000
	化工用	2,500	32,300	34,800	2,800	30,100	32,900
	その他	11,300	42,700	54,000	12,000	10,400	22,400
	計	30,900	104,500	135,400	30,200	96,200	126,400
	一般販売		73,800	73,800		71,600	71,600
合計		30,900	178,300	209,200	30,200	167,800	198,000
次年度繰越		4,000	7,500	11,500	4,800	7,200	12,000

JA・生産者の皆様へ

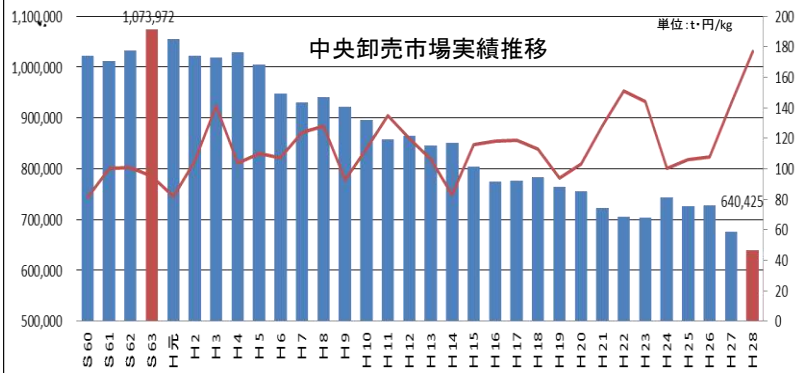
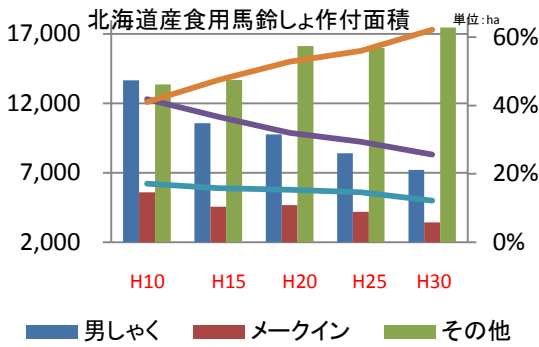
- ◆糖化用・化工用・固有用途の各用途において求められる需要があり、19万t(系統18万t)の需要量は欠くことのできない固定需要であります。
- ◆供給できない場合、輸入でん粉やでん粉を使用しない商品への切替が進む可能性があります。
- ◆特に固有用途は、一度需要を喪失すると回復が困難な用途であります。
- ◆その場合、馬鈴しょでん粉の需要確保に多大な影響を及ぼす可能性があります。

⇒安定供給体制の確立に向け、作付面積の拡大が必要！

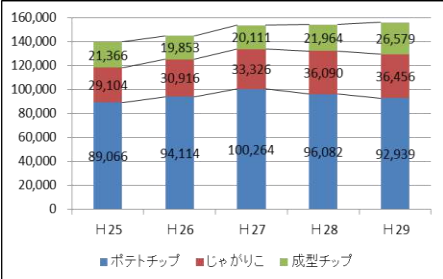


多くのユーザーが馬鈴しょでん粉を必要としています。作付面積の拡大・安定生産に向けた取組みをよろしくお願いします！

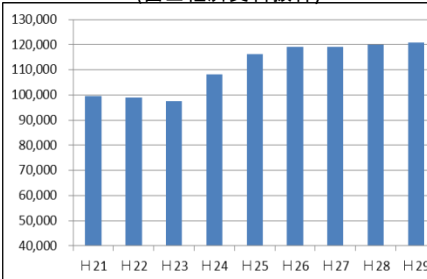
2. 馬鈴しよの産地情勢及び消費実態の傾向について



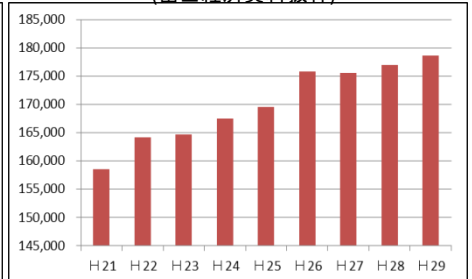
ポテトチップ販売数量
スナックシリア府フーズ協会調べ 単位:t



サラダ販売数量
(富士経済資料抜粋) 単位:t



コロッケ販売数量
(富士経済資料抜粋) 単位:t



【傾向】全道の作付面積は、主力品種の男爵・メークインが減少傾向で、加工品種を含むシストセンチュウ抵抗性品種へ移行されている。消費量は生鮮の消費が減少している。ポテトチップは成型チップの増加もあり伸長、サラダはやや飽和状態にあり、コロッケは低価格志向の販売で微増傾向にある。

【今後】将来に向けては、食用馬鈴しよ生産者の所得向上と適正な輪作体系維持に向けた、消費実態を踏まえた品種構成による馬鈴しよ面積(種芋も連動)の維持・拡大に努めてまいります。

3. 【北見施防協試験結果のご報告】

平成30年度の北見地区施防協試験で新規殺虫剤のばれいしよのアブラムシ類に対する効果確認を実施いたしましたのでご報告いたします。

ばれいしよのアブラムシ類に対する新規殺虫剤 ～ ビレスコ顆粒水和剤 ～

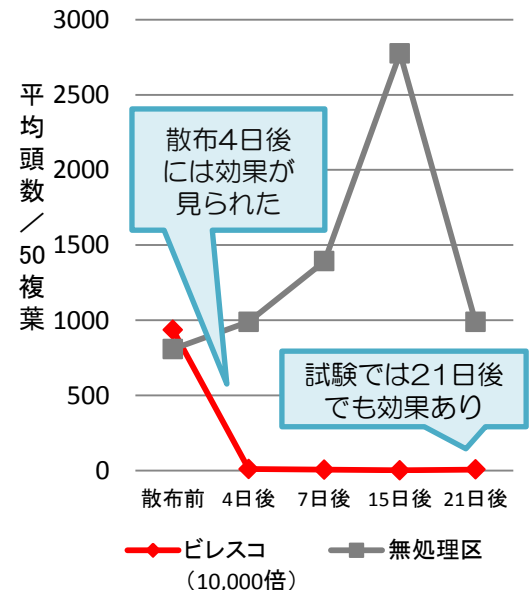
<特徴>

1. 既存の系統と異なる殺虫剤(スルホキシイミン系)
2. 速効性に優れる
3. 幅広い種類のアブラムシ類に効く
4. 浸透移行性と浸達性を持ち、残効性にも優れる

<適用内容> 一部抜粋 2018年10月時点

作物名	適用病害虫	希釈倍数	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	使用回数	使用方法
ばれいしよ	アブラムシ類	5,000~10,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布
		1,250	25			

H30年施防協試験結果
(ばれいしよのアブラムシに対する効果確認)



※てんさいのアブラムシ類にも登録済み。

【トピックスコーナー1】

●子牛の寒さ対策で離乳時DGがアップ！ 《ホクレン訓子府実証農場 畜産技術課》

ホクレン訓子府実証農場では、子牛の飼養管理方法改善をテーマに様々な対策を行ってきました。特に昨年秋からは哺乳舎の寒さ対策に重点をおいて改善を図りました。

一つ目はカーフハッチへのヒーターを後付けです。マイナスの外気温にも耐えられるようにしました。二つ目は哺乳舎屋根のウレタン吹付けです。温かい空気が逃げないように改善しました。これらの結果、年間平均の離乳時DG（1日当たりの増体量）が0.1kgアップしました。今後も健康な子牛管理に励んでいきます。



哺乳舎屋根のウレタン吹付け



ヒーターを取付けたハッチ

【トピックスコーナー2】

●冬野菜の試験販売を行いました 《ホクレン訓子府実証農場 農産技術課》

ホクレン訓子府実証農場では、厳寒地における冬場の野菜供給や労働力確保を目的に冬野菜の栽培試験を実施しています。平成30年11月27日には、収穫した小松菜とリーフレタスの試験販売を行いました。消費者からは「冬場でも野菜を食べたい」、「地場産の野菜があれば購入したい」との声が聞かれ、地場産冬野菜の需要の高さがうかがえました。

ご興味のある方はホクレン訓子府実証農場 農産技術課までご連絡ください。

(Tel. 0157-47-2130)



試験販売した小松菜（左）とリーフレタス（右）

★内容に関してのお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室（担当：林田）まで、メールにてお願いいたします。（アドレス：11einousien@hokuren.jp）

～次号予告～

次号（平成31年度第1号）のテーマは『GAP』です。乞うご期待下さい！